

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 9月28日

【評価実施概要】

事業所番号	1271202754		
法人名	NPO法人グループホームかがやき		
事業所名	かがやき		
所在地	千葉県松戸市旭町四丁目1150番地の3 (電話) 047-710-7773		
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成20年 9月23日	評価確定日	平成20年 10月 7日

【情報提供票より】(平成20年 9月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 3 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 6.3 人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 ~ 72,000 円	その他の経費(月額)	23,000 円
敷金	有(216,000 円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,500 円

(4) 利用者の概要(月 日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 75 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	新松戸診療所、千葉西総合病院、ラビット歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅と畑が広がり緑豊かで静かな環境の中に、「グループホーム かがやき」がある。木造2階建ての新しい建物で、施設内はゆったりとしたスペースが確保され、明るく家庭的な雰囲気となっている。施設の運営理念でもある「地域の一住民としての生活や外出」を大切に、地域住民や地元の老人会、地域の子供達等幅広い世代との相互交流を持ち、入居者の生活の活性化を図っている。また、福祉車両を使用して、千葉県内や東京都内の名所観光やドライブ等の外出活動が頻繁に実施され、入居者と職員が共に楽しみを共有している。職員は、入居者が「健やかに、楽しく、その人らしく」生活を送れるように、明るく温かい支援を行っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価における改善点は、職員会議や運営推進会議を活用し、適切な改善がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、職員の意見を反映させながら管理者が作成している。外部評価の意義については職員全員が理解しており、評価によって業務の再確認をすると共に、気付きを大切にしながらサービスの質の向上に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	市職員・民生委員・入居者・家族・職員を構成員として、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。写真を用いて施設の活動報告を行うと共に、意見・情報交換や質疑応答を行っている。会議で得た意見やアイデアを取り入れて、サービスの向上に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情窓口を設置すると共に、家族の面会時に直接意見や要望等の確認を行っている。また、家族との会話の中から気持ちを汲み取るよう心がけている。挙がった意見・要望等に関しては、内容から対応までを記録し、職員全員に周知徹底を図ると共に、話し合いを行い、即時解決に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	広報誌を発行し地域住民への理解促進を図ると共に、近隣とは散歩時に挨拶を交わす関係が築かれている。地域行事への積極的な参加や地元ボランティアの受け入れも行っている。また、地域老人会への参加や、近隣の幼稚園・小中学校及び高等学校との交流も行われ、幅広い世代との交流を図っている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「健やかに、楽しく、その人らしく」を主眼とした独自の理念を作り上げている。入居者が地域の一住民として生活を送れるように、入居者の状況に応じた柔軟な支援を行っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内に理念を掲示すると共に、広報誌にも理念を掲載している。職員会議において理念の確認が行われ、職員全員が常に理念を意識しながら、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	広報誌を発行し地域住民への理解促進を図ると共に、近隣とは散歩時に挨拶を交わす関係が築かれている。地域行事への積極的な参加や地元ボランティアの受入れも行っている。また、地域老人会への参加や、近隣の幼稚園・小中学校及び高等学校との交流も行われ、幅広い世代との交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、職員の意見を反映させながら管理者が作成している。外部評価の意義については職員全員が理解しており、評価によって業務の再確認をすると共に、気付きを大切にしながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市職員・民生委員・入居者・家族・職員を構成員として、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。写真を用いて施設の活動報告を行うと共に、意見・情報交換や質疑応答を行っている。会議で得た意見やアイデアを取り入れて、サービスの向上に活かしている。		

【千葉県】グループホーム かがやき

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所や地域包括支援センターへ広報誌を配布していると共に、常に連絡を取り合い情報交換を行っている。また、施設運営全般に関する相談を随時行い、問題の早期解決を図っている。市主催の講習会・研修も多数開催され、積極的に参加している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に、入居者の生活状況や金銭報告等を行うと共に、毎月手紙と写真を送付し状況報告を行っている。また、3ヶ月毎に広報誌「かがやき通信」を発行し、多数の写真を掲載しており、季節行事や外出の様子を伝えている。入居者の生活状況に変化のあった場合は、随時電話連絡を行っている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設置すると共に、家族の面会時に直接意見や要望等の確認を行っている。また、家族との会話の中から気持ちを汲み取るよう心がけている。挙げた意見・要望等に関しては、内容から対応までを記録し、職員全員に周知徹底を図ると共に、話し合いを行い、即時解決に努めている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在のところ退職者は無く人材は安定している。管理者は、職員の勤務体系の工夫等働きやすい職場環境作りに努め、離職を抑える努力を行っている。入職者のあった場合は、慣れた職員と一緒に業務を行う事で、入居者と早く馴染みの関係が築けるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年度計画を立て、外部研修に積極的に参加している。研修参加後は、報告会や資料の閲覧等で情報を共有している。内部研修においては、ミーティングで業務指導を行うと共に、看護師の職員による医療行為や服薬の指導等を行っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉県グループホーム連絡会の会議に出席し情報交換等を行うと共に、相互の施設見学を行い、優れた部分を取り入れながらサービスの質の向上に努めている。他にも多くのグループホームと相互交流を持ち、入居者と共に他施設の行事へ参加する等、交流を深めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>随時見学を実施している。体験入居を実施しており、施設の雰囲気に慣れてもらってからの入居となっている。入居後においては、職員が手厚く付き添い、家族の協力も得ながら、出来るだけ早く馴染み安心して生活が送れるように支援している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者の希望や能力に応じて、家事等の生活活動を共同で行っている。職員は入居者に対して常に尊敬の念を持ち、人生経験や生活の知恵を学びながら、共に支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に、本人や家族から意向や生活状況等を確認している。入居後も日々の生活の中から、職員の気付きや情報交換を通して本人の意向の把握に努め、本人らしい生活を送れるよう支援している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画においては、本人や家族の意向や要望を踏まえた上で、職員全員で意見を出し合い、計画作成担当者がまとめ、本人本位の介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回、介護計画の見直しを行っている。また、生活状況に変化のあった場合や必要であると判断された場合は、その都度見直しを行っている。見直しにおいては、本人や家族の意向や要望を踏まえた上で、職員全員で意見を出し合い、計画作成担当者がまとめ、本人本位の介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	福祉車両を所有しており、通院や買い物等入居者の希望に応じた柔軟な外出支援を行っている。出張理容が実施され、入居者の身だしなみの支援を行っている。また、週1回介護予防体操の先生がボランティアで体操教室を開催し、近隣住民も参加して好評を得ている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院以外にも、希望のかかりつけ医への受診が可能となっている。また、毎月定期的に内科医の往診が実施されている。常勤看護師が日常の適切な健康管理を行っていると共に、24時間看護師と連絡が取れる体制が作られている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期においては施設の方針を明文化し、家族への説明を行い承諾を得ている。重度化した場合には、指針に沿って家族・医師・職員が相談しながら、施設として出来る限りの支援を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については事務所で保管し、個人情報の保護を図っている。また、広報誌等への写真の掲載については、家族の承諾を得ている。職員全員に接遇マナーの指導を徹底しており、申し送りの方法や言葉遣いに気を付け、プライバシーに配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の生活に日課の取り決めは無く、一人ひとりのペースを大切にして入居者の希望に沿った支援を行っている。希望を言い出せない入居者に対しては、さりげない声掛けや日々の観察の中から、希望を把握するよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片付け、買い物等を希望に応じて共同で行っている。栄養士が栄養バランスに配慮した献立を作成している。定期的な外食会や誕生日会を実施し、食の楽しみを支援している。また、目の前の畑で自ら収穫した野菜が食卓に上るのも、大きな楽しみとなっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は本人の希望や状況に応じて、回数や時間等柔軟に対応している。入浴の拒否があった場合は、無理強いせずに声掛けやタイミング等を工夫し、適切な対応を図っている。また、安眠を促す為の足浴も行われている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の希望や能力に応じて、家事・畑仕事・手芸等を共同で行っている。体操や風船バレー等で体を動かし、運動機能の向上・維持にも努めている。また、幼稚園児や小中学生及び高校生との世代間交流も、入居者の大きな楽しみとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望に応じて、散歩や買い物等を実施している。また、福祉車両を使用して、近隣行事や老人会等の交流の場への外出、県内や東京都内の名所観光、ドライブ、外食会等、日常的に楽しい外出を企画・実施して支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っておらず、入居者の自由な生活を支援している。入居者が外に出た場合は、声掛けや見守りで柔軟に対応している。居室の鍵については、希望者のみ設置している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアル・避難経路・緊急連絡網等が掲示されている。各室に火災報知器が設置されており、2階のベランダに避難用滑り台が設置されている。消防署の協力のもと、年1～2回の消火避難訓練を実施していると共に、近隣住民や地元消防団等との、緊急時における協力体制も構築されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の嗜好や能力に合わせた、適切な食事提供がなされていると共に、食事や水分摂取の記録を行っている。摂取量が少ない場合は、好みの物や栄養補助食品等に対応し、必要な栄養の確保に努めている。また、状況によっては医師への相談も行っている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>バリアフリーとなっており、玄関・廊下・トイレ等広いスペースが取られている。また、2階への階段は緩やかな作りになっている。リビングには大きなソファが並べられ、ゆったりくつろげるよう配慮されている。壁には行事や外出時の写真が多数掲示されていると共に、季節の花が飾られて、明るく楽しい雰囲気作りがなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者の希望により馴染みの物を自由に持込む事が可能となっており、居心地良く生活出来るよう配慮されている。洋室と和室があり、全居室にエアコンと換気扇が設置され、適切な空調管理がなされている。</p>		